

## 国際シンポジウム

### 「災害下におけるソーシャル・キャピタルと健康」

"Social capital and health in disaster"

東日本大震災で、人々の「絆」（ソーシャル・キャピタル・社会関係資本）が注目を集めました。ソーシャル・キャピタルが豊かだと、被災した人々の健康被害が抑制され、回復が促進されるのではないかと、という声は少なくありません。一方、その根拠の多くは事例や経験にとどまり、科学的なエビデンスはまだ限られています。将来への備えとしてソーシャル・キャピタルの位置づけを高めるには、科学的な知見がもっと必要です。エビデンスを増やすことこそ、被災国日本の研究者が取り組むべき課題ではないでしょうか。そんな思いに駆られ国際シンポジウム「災害下におけるソーシャル・キャピタルと健康」を企画しました。ソーシャル・キャピタル研究の第一人者 Ichiro Kawachi 教授（ハーバード大学公衆衛生大学院）をはじめとする研究者をお招きし、研究の到達点を確認し、今後の研究課題を考えます。

日時 5月25日 午後1時～午後5時

場所 東京大学経済学研究科・学術交流棟（小島ホール）2階コンファレンスルーム

#### シンポジスト

Prof. Ichiro Kawachi (Harvard School of Public Health)

“Social capital and health in disaster (TBD)” (日本語抄訳つき)

澤田 康幸教授（東京大学大学院経済学研究科）

「災害とソーシャル・キャピタル（仮題）」

相田 潤准教授（東北大学）

「東日本大震災被災者における健康とソーシャル・キャピタル（仮題）」

#### 総合討論

コーディネーター 近藤克則（日本福祉大学 健康社会研究センター）

参加費 無料

◆資料作成の都合上 [jages\\_admin@ml.n-fukushi.ac.jp](mailto:jages_admin@ml.n-fukushi.ac.jp)まで申し込みをお願いします

主催 日本福祉大学 健康社会研究センター

共催 厚生労働科学研究「健康の社会的決定要因に関する研究班」

「介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究班」

本シンポジウムには、平成25年度長寿科学総合研究推進事業ならびに私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の助成を受けています

